

今月のテーマ 天・地・人



田上市長の 恋と恋と恋

～自らの思いを皆さんに語るコラム～

三大の時は地の利に如かず。地の利は人の和に如かずは、孟子の言葉です。

この言葉をまちづくりに当てはめれば、こんなふうには訳すことができるのではないのでしょうか。

「時代の流れを読み、事業を進めるタイミングを見誤らないのはとても大切なことだ。でも、それよりも大切なことは、そのまちが持つ地理的な特徴や自然、歴史、文化、産業といった個性を徹底的に活かすことだ。そして、その二つよりも何よりも大切なことは、人々の気持ちが一つになつて力を合わせて取り組むことだ」

* * *

今、長崎のまちづくりはとても大切な時を迎えています。日本全体が人口減少の時代に入中で、ごつやごつやと暮らしやすさと活気を持つまちをつくり続けていくのが問われているのです。

教育のあり方、産業のあり方、都市施設のあり方、医療や福祉のあり方、地域コミュニティのあり方、市役所のあり方……どれも、これまでも同じではやっていけない時代です。新しいやり方や仕組みを考え、やってみる中で、そのまに合った方法を見つけていく。時代の変化に流されるのではなく、むしろ自ら

変化をつくる積極さを持ったまちだけが、これからの新しい時代に合った、都市の生き方を見つけていくのだと思います。

いま、長崎市が掲げている都市ビジョン「世界都市」人間都市、そして市が取り組んでいる重点プロジェクトは、そんな時代に合わせたもので、一つひとつが長崎の今と未来にとつて大事なものです。

* * *

長崎にはたくさんの「地の利」があります。

発展著しいアジアに位置が近いこと。歴史、まつり、円形劇場のような地形、港、食文化……。

こんなに多くの個性を持つまちは他にありません。その一つひとつのユニークさは、他のまちが真似できないかけがえのない財産で、磨けばもつと輝きまします。



歓迎すべき「三大の時」もたくさんあります。

世界都市をめざす長崎にとつ

て、外国人観光客の増加は願ってもないチャンスです。6年後には新幹線も開通します。企業の拠点分散の動きは長崎市への企業立地につながっています。国の地方創生の動きも、個性を活かすまちづくりを進めてきた長崎市には追い風です。

もちろん、中にはマイナスの影響を及ぼす変化もあります。避けることができない変化については、「ピンチはチャンスと捉え、マイナスを最小限に抑えながら、次のプラスを生み出す」とする積極さが重要です。

そして、何よりも大切な「人の和」。

「地の利」と「三大の時」をしつかりと見極めれば、長崎が進むべき道は見えています。それが、今進めている「世界都市・人間都市」というビジョンです。長崎の今と未来のために大切な時期だからこそ、ビジョンと具体的な事業について、市民のみならずともつとめと共有しながら進めなければならぬと強く感じています。



ながさき
フチ旅行

長崎の南へレッツゴー
野母崎・田の子島

出かけて見る・知るまちのオススメスポット

長崎駅からバスで1時間。運動公園前バス停で下車すると右手に軍艦島資料館が見えてくる。

ここでは、端島(軍艦島)の魅力やパネルや高画質な映像などで紹介しているほか、野母崎近郊で発掘された恐竜の化石のレプリカや野母崎の生きものの写真などを楽しむことができる。

次に資料館を出て左手にある海岸へ。目の前には田の子島や軍艦島、奥には五島灘(なだ)が広がり、よせては返す波音や潮風が日頃の疲れを癒やしてくれる。

また干潮時は田の子島へ歩いて渡ることができ、カップルで砂浜の小石を置いてくると幸せになれるといわれている。まさに野母崎のパワースポットだ。

あなたも一度訪れてみてはいかがだろうか。